

20年度予算成立

20年度も緊縮型

多くの意見を提案し



小学生までの医療費窓口負担の無料化は今年度も継続（小学校の新1年生）

地方債残高（町の借金） 平成19年度末見込

地方債（一般会計）	27億4,757万円
広野町簡易水道事業債	2億5,029万円
広野町下水道事業債	20億1,378万円
農業集落排水事業債	3億8,945万円
合計	54億112万円
町民一人あたりの借金	約97万円
	※前年度比 △2万円

基金・積立金残高（町の貯金） 平成19年度末見込

財政調整基金	10億9,457万円
電源立地促進対策交付金施設維持基金	3億4,856万円
奨学資金貸与基金	1億2,844万円
文化およびスポーツ振興基金	6,845万円
ふれあい福祉基金	1億2,407万円
介護給付費準備基金	5,323万円
その他の基金の計	7,040万円
積立金（預金）	4億2,116万円
合計	23億892万円
町民一人あたりの貯金	約42万円
	※前年度比 11万円

議会力を発揮

平成20年3月定例会を、3月6日から14日までの会期で開きました。

今回は、平成20年度予算を中心に、条例の制定や改正、補正予算など、提出された31の議案を慎重に審議し、否決した「広野町地区集会所整備事業基金条例」を除いて原案どおり可決しました。

このうち町の仕事の大部分を占める平成20年度一般会計予算については、東京電力(株)広野火力発電所にかかる固定資産税収入が落ち込むことから、総額で34億69万円となり、前年度に引き続き「緊縮型」の予算となりました。

平成20年度予算の執行にあたっては、最小の経費で最大の効果が得られるよう多くの意見を提案しました。
【8～12ページに関連記事】

平成20年度一般会計は賛成10、反対1で可決

【賛成議員】

鈴木 紀昭、中津 伸一、塩 史子
渡辺 久長、黒田 政徳、鈴木 正徳
渡邊 正俊、門馬 巧、遠藤 智
北郷 幹夫

【反対議員】

畑中 大子 ※後期高齢者医療制度にかかる経費が含まれているため。

町長施政方針

～基本施策は7つの柱～

平成20年度は、限られた財源を最大限有効に活用する観点から、「自然とともに新しい文化をつくるまち ひろの」の実現に向け、次の施策を基本に町政運営を進めます。

- 保健福祉の充実
- 生活環境の整備
- 産業の振興
- 交流活動の推進
- 教育の振興
- 人材育成プログラム支援事業
- 行財政改革



(※詳しくは、「広報ひろの4月号」をご覧ください。)

会計名	予算額	前年度比	採決の状況	
一般会計	34億69万円	△10.2%	賛成10、反対1で可決	
特別会計	国民健康保険	6億252万円	5.6%	全員賛成で可決
	土地開発事業	337万円	△31.1%	〃
	老人保健	9,151万円	△86.8%	〃
	公共下水道事業	2億5,078万円	5.2%	〃
	農業集落排水事業	3,513万円	△3.8%	〃
	介護保険	2億6,225万円	15.8%	〃
	後期高齢者医療	4,379万円	100%	賛成10、反対1で可決
合計	46億9,008万円	△15.6%		

※金額は、全て千円未満を切り捨てて表示しています。

20年度

町の運行費 と財政事情